

平成29年7月6日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題 西いわみ地域の集落放牧シーズン到来！

(ダイジェスト)

6月27日、益田市の農事組合法人「城九郎」の休耕田において、レンタル牛による集落放牧を開始しました。今シーズン、当地域では3件目の集落放牧開始です。

当法人の集落放牧は昨年度に続き2シーズン目であり、定着への期待は高まっています。

当地域では、レンタル牛の集落放牧の外、昨年からは和牛繁殖経営を開始した農事組合法人「横尾衛門」の事例もあり、面的拡大に加えて放牧形態の高度化も支援することとしています。

入牧当日は、農事組合法人「城九郎」の組合員3名と島根県中山間地域研究センター3名の外、当事務所から3名が立ち会い、牛の健康状態及び牧野のチェック、給水施設と連動スタンションの設置等作業を行いました。

当地域では、同市農事組合法人「横尾衛門」が経営多角化の一環として集落放牧による和牛の繁殖経営を昨年からは開始しており、それに続く集落放牧の開始と和牛の繁殖経営へつながればと営農組織の取り組みに期待が集まっています。

今年度は、2シーズン目のレンタル放牧を開始した農事組合法人「城九郎」の外、津和野町の農事組合法人「しもぐみ」でもレンタル放牧が始まっています。

今後は、レンタル牛による「お試し放牧」と集落放牧による和牛の繁殖経営の普及定着のため、データ収集とPRを行いたいと思います。



入牧前のセッティング状況



放牧後の牛の採食行動等観察